



久留米絣協同組合青年部
部会長 坂田和生さん(38歳)
(有)坂田織物 生産販売課課長



1点モノのハンカチ

Kasuri new wave

～新たな絣に挑戦するヒト・モノを紹介します～



ローテクな織機から最新のデザインが生まれる



ストール&シャツ



新たなブランド確立への試み

昨年6月から久留米絣協同組合の青年部部会長になった坂田和生さんに、久留米絣の新たなブランドについて取材させていただいた。

「TUGUというブランドなんですけど、3つの意味があります。一つは捨てていた短い糸を継ぐ、二つ目は伝統を継ぐ、三つ目はモッタイナイを英語でtoo good(ツウ・グッド)と言い、この三つの意味をブランドコンセプトにしたのが【TUGU】ブランドです。

TUGUブランドの原料糸は、織り抜き糸(6m)をこれまでは捨てていたんですね。この糸をわけて再び織る事で同じ柄がない、一点モノの織物が出来るんですよ。」

坂田さんのTUGUブランドは昨年、福岡県産業デザイン賞の優秀賞に選ばれた。さらに東京ミッドタウンにある伝統工芸をデザイン重視で見せる「THE COVER NIPPON(ジ・カバリーニッポン)」でも福岡県を代表する伝統工芸品として紹介されている。

絣組合青年部(会員10名)の青年部長の肩書きを通して奄美大島・大島紬の組合青年部(会員10名)との交流が実現、ほぼ同じ規模の団体、抱える悩みも共通したものがあったという。

どちらもこれからはデザイン重視でモノづくりをやって行こうという方向性は同じだった。

女性中心のアイテムからユニセックスへ

現在、TUGUブランドにはワンピース、スカート、帆布のバッグ、そしてストールスヌードなど4アイテムがある。「絣は昔ながらの伝統を守り文化的価値を保つ絣と、デザイン性とカジュアル性をもった手軽な絣も必要だと思います。TUGUは後者を狙っています。大島の青年部も同じ方向性で制作に励んでいます。他の産地に比べ久留米絣は両方でやっているから生き延びているのかなと思います。

カジュアルの代表であるジーンズも久留米絣で創れないかと。藍染め、括り糸を使い、広幅の織り機を使ってですね。」と坂田さん。

これまで久留米絣はいろんなニーズに対応して来たからこそ現在も多くのファンの支持を得ている。近年若者層の絣ファンが増えている。坂田さんの目指すものは、多くのファンの声を聞きながらモノづくりをすること。

2020年には海外への挑戦を考えているという。外国人の目に伝統工芸を理解してもらおうと現在、SNS、ツイッター、インスタグラム(写真型FB)も積極的に取り組む予定だそう。

KURUME KASURI

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。

かすりとす

久留米かすりファン倶楽部季刊誌

vol.

18

夏号

CONTENTS

- 1p ・Kasuri new wave
- 2p ・国武絣倉庫の歴史
・絣ショップ&カルチャー
- 3p ・かすりすとバスハイク
2015 レポート
柳川さげもんツアー
・第25回 広川かすり祭
・かすりたまご展
- 4p ・くるめんあきんど物語3
「まぼろしの久留米絣」
・かすりすと会員プレゼント
・絣織元登場
小川内絣工房
小川内 龍夫さん
・地場産くめ
SHOP INFORMATION

お問い合わせ／希 nozomi sewing
TEL.090-9589-9799(～のぞみ～)

- 小郡ムッシュド ムニール教室
とき／月1回(20～30日)月末実施 10:30～16:30
ところ／ムッシュド ムニール(小郡市八坂2-50)
受講料／¥5100～(ランチ付)
※一回で1点を創ります(仕上げます) 3名限定

■展示会 希 ～のぞみ～「ほほえみ展」

とき／2015年9月12日(土)・13日(日)

10:00～17:00

ところ／地場産くるめ2F

●ワークショップ 第2回 Mercato Fun in L・音

とき／2015年8月1日(土)・2日(日)

ところ／癒しの喫茶 る・音(糸島市前原東1-7-32)

TEL.092-324-8371



蜷川町創世セリエンヌでのワークショップ



お問い合わせ／風のおくりもの アクロス福岡店
福岡市天神1丁目1-1 アクロス福岡地下2階GTマイスターI
TEL.092-724-7253

営／11:00～18:30 休／年末年始

<http://kurume-kasuri.com/>

久留米本店／久留米市東町31-7

TEL.0942-46-4767

國武絣倉庫の歴史

小さな物語



かすりの小径に佇む倉庫

旧國武合名会社倉庫は 久留米が誇る明治の産業遺産

「頑丈な建物でしょ!当時の大工さん、左官さん達も今、生きてたらびっくりするでしょうね。ココの駐車場の基礎部分は当時の建物の一部が残っているんですが、取り除こうと思って2～3時間で終わる作業が4日間もかかりました。(笑)」そう話す國武秀敏さん(67歳)は國武合名会社創業者、國武喜次郎から数えて5代目。

「私たち兄妹は自宅が十二軒屋で育ったものですから、父母、親戚などから、あ～だったこ～だったと聞く事が多かったですね。現存する煉瓦倉庫を中心に白壁造りの倉庫、社員用の体育館(卓球台などがあつた)、そして六三亭という洋館煉瓦造りの建物などがありました。通町(現昭和通り)の道路拡幅に伴い取り壊しになりました。」

現在の國武絣倉庫は明治10年(1877～1882年)頃、西南戦争により絣の需要が増え、商品管理倉庫が必要になったのでは、と國武さん。約140年の歳月を経て今に残る倉庫。戦災で街なかがほとんど焼けてしまった中で、頑丈堅固、和洋折衷の繊細な造りの國武絣倉庫は明治の産業遺産として久留米の街なかで、久留米絣の歴史的シンボルとして息づいている。



國武秀敏さんと妹さんの國武紀子さん



現在駐車場の基礎となっている昔の建物の一部



國武合名会社の社名と社章が残る倉庫

かすりすバスハイク 2015 レポート 柳川さげもんツアー

3月2日(月)に行われた毎年恒例のバスハイク、今回は絣織元「坂田織物」見学の後、水郷柳川のさげもんを見学、御花、白秋生家などを巡り、目野酒造にてお酒の試飲など、盛りだくさんの内容にバスハイク参加者の皆さんも大満足の様子でした。



かすりたまご展 第23回久留米絣創意工夫展

作品受付期間 2015年7月6日(月)～8月7日(金) **必着**

出品料 お一人様につき 1,000円
※募集要項は応募チラシの裏面に記載

作品展示期間 2015年8月19日(水)～8月24日(月)
【展示時間】9:00～17:00(最終日は16:00まで)
【展示場所】広川町産業展示会館

特別展示期間 2015年9月19日(土)・9月20日(日)
【展示場所】ドンマルク
(無料のシャトルバスを運行)

お問い合わせ 広川町観光協会「かすりたまご展」係
(広川町産業展示会館内)
八女郡広川町大字日吉1164-6
TEL.0943-32-5555 FAX.0943-32-5556

作品募集



第25回 広川かすり祭

期間 2015年9月19日(土)・9月20日(日) 9:00～17:00
会場 広川町産業展示会館(八女郡広川町大字日吉1164-6)

メインイベント① かすりでAloha～アロハ～ **両日開催**

メインイベント② 広川の絣工房巡りと味わい巡り(有料) **両日開催**

《その他のイベント・催し物》

- お楽しみ抽選会 ●広川の伝統工芸と味わい市
- かすりんびく(当日参加受付)
- かすりでハイポーズ(着付料:500円)
- 久留米絣ファッションショー
- かすりたまご展表彰式(20日開催 13:00～)

お問い合わせ 広川町観光協会
かすり祭実行委員会 TEL.0943-32-5555



絣 ショップ

希 nozomi sewing

主宰 檜原亜希さん

久留米絣を素材に洋服をはじめ、いろんなアイテムに絣をデザインしている服飾作家檜原亜希さん。現在、小郡の「ムッシュド ムニー」で月に1回のペースで教室を開催されています。幼い頃、お母さんから手作りのもんぺを着せてもらった事が服飾デザインの世界に入るきっかけとなりました。福岡の香蘭ファッションデザイン専門学校に入学、卒業後講師を11年間勤め、7年前に独立し、「希～のぞみ～」ブランドを立ち上げました。

教室の合間、お声がかかるとワークショップを引き受け、絣ファンの裾野を広げています。また希ファンからオーダーが入る事もあり、教室、ワークショップ、作家と三足のわらじを履きながら、多忙な創作の毎日です。



↑ 檜原さんデザインのお揃いのパンツを身に着ける吉野さん夫妻

風のおくりもの

「風のおくりもの」アクロス福岡店は、久留米絣と和雑貨のお店として今年の4月29日にオープンしました。本店である久留米一番街の「風のおくりもの」の姉妹店。店長の赤司幸加理さん(26)は、本店オーナーの赤司貴代子さんの長女。自身も大学卒業の振り袖を久留米絣で誂えた程の絣ファン。店内にはワンピース、チュニック、ストール、子供服など様々な年代のおすすめの絣があります。また体型に合わせたオーダーも承っています、とのこと。福岡の新しい久留米絣のおすすめスポットです。是非一度覗いてみてはいかがでしょうか。



店長の赤司幸加理さん

くるめんあきんど物語3

「まぼろしの久留米縞」小川トク伝 古賀勝 著

久留米縞ってご存知ですか?久留米縞と並び賞せられる絹織物。明治9年に小川トクが考案し、織り始めたものが「久留米縞」なのです。

この春、古賀勝さん(74歳、久留米市荒木町出身、福岡在住)が、くるめんあきんど物語シリーズの3巻目として出版されました。伝記的小説で小川トクの出生から久留米に来て縞織りを考案し地場産業として発展していった過程を明治という時代と当時の久留米の街の人々を背景に描かれている。前作「織屋のでん 伝」とともに久留米の織物文化をひも解く物語として興味をそえられる。※いずれも非売品として200部発行。久留米市などの図書館、商工会議所等で閲覧できる。



かすりすと会員プレゼント

表紙で紹介した坂田織物さんの新しいブランド【TUGU】の肌に馴染むハンカチを4名様にプレゼント。



応募方法はハガキで住所・氏名・年齢を明記の上、かすりすと紙面への感想、今後取り上げて欲しい話題などを記入の上、下記の住所へお送り下さい。

応募締切/8月31日(月) 必着

※応募多数の場合、抽選となります。プレゼント当選は発送をもってかえさせていただきます。

〒839-0809 福岡県久留米市東合川5丁目8番5号
地場産くるめ「かすりすとプレゼント」係



夜(月)と昼(太陽)を表現した大作(一部)、中尾一美さんとの合作(1995年頃)



小川内さんの作品

これから現役で織れるのも約5年ぐらいいかな。若いときから東海道五十三次を織りたいと思っていました。これから10年元気で仕事ができたら、この仕事を是非実現させたいですね」

工房内には藍染が16本(最盛期は24本だった)現役で使われている。阿波藍(赤みの染料と北海道藍(青みの染料)を使っているそう

「問屋さんへの納品がほとんどです、自分で売り切らんではいけません」という小川内さん、いろいろ

工房内には藍染が16本(最盛期は24本だった)現役で使われている。阿波藍(赤みの染料と北海道藍(青みの染料)を使っているそう

「問屋さんへの納品がほとんどです、自分で売り切らんではいけません」という小川内さん、いろいろ

「私で二代目です。父の代は括り専門で、刑務作業用の縞の材料を納品していました。昭和30年代後半から私の代で染めと織りを含め家業として縞を織るようになりました。」

「50年以上上をの付き合いの方もいらっしゃる。50年という長い時間、中にもいろいろなことがありました。」

久留米縞の特徴である「小柄」を得意とする小川内龍夫さん(75)。広川町の自宅に隣接した工房で経糸の整経作業中にお邪魔しました。

「やはり阿波藍の方が藍の色合いが綺麗にできますね。最近では阿波藍が手に入りにくくなりました。月に30反程を織り上げます。」

括り専門から出発

だ。

「やはり阿波藍の方が藍の色合いが綺麗にできますね。最近では阿波藍が手に入りにくくなりました。月に30反程を織り上げます。」

分業にて縞を織り上げる

これからの縞への思い

現在、小川内さんの工房では、奥様の幸子さんが整経と外面を、龍夫さんは染めと括りをそれぞれ分業されています。後継者は今のところおりませんとおっしゃる。

「50年以上上をの付き合いの方もいらっしゃる。50年という長い時間、中にもいろいろなことがありました。」

縞織元登場 創くる



小川内 龍夫さん(75歳)



小川内 龍夫さん
八女郡広川町新代1991
TEL.0943-32-0041

地場産くるめ SHOP INFORMATION



夏本番、筑後のうまかもんが勢揃い。お中元に！ギフトコーナーでございました！贈って喜んで頂く、そんな筑後の優れものがいっぱいある地場産くるめにギフトコーナーが開設中。ご予算に合わせて品揃えをいたします。お気軽にお越し下さい！



8個入り ¥1200 (税込)
製造元/洋菓子工房ラベ

販売は JR 店のみ

久留米のお土産に
今が旬！夏季限定発売
城島産マンゴージャム入り
「はとむぎのえん」(タッグワーズ)
久留米産はとむぎを使用し、タッグワーズ生地に甘酸っぱいマンゴージャムをサンド。新しい久留米産品の誕生です！

ふるさとを「頑張り屋」です！
地場産くるめ
公益財団法人久留米地域地場産業振興センター

地場産くるめ TEL.(0942)44-3700 FAX.(0942)43-1020
営.10:00~17:00 ※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。
毎月11日は「いい日地場産の日」開催! 毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)

地場産くるめ JR久留米駅店
TEL.0942-27-5510
営.7:00~19:00